

【地域医療構想調整会議用】 病院整備計画の概要書

- 1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

- 2 開設者の名称・所在地（個人開設の場合、所在地は市町村名を記載）

3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
計				

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア病床	回復期リハビリテーション病床

4 開設等の目的、整備方針、必要性、地域医療構想調整会議の議論との整合性

当該二次保健医療圏における当該整備計画に係る医療の現状と課題、令和6年2月～3月に開催された地域医療構想調整会議における協議の状況及び会議後の追加意見を踏まえた開設等の目的、増床の必要性、開設等により改善される見込み等を記載してください。

※以下については記載内容に必ず盛り込んでください。

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み（増床の必要性）

○新たに整備する病床が担う予定の病床機能、医療機能と地域医療構想における当該二次保健医療圏の病床の機能区分ごとの将来の病床の必要量との関係性

○整備を計画している圏域における地域医療構想調整会議の議論との整合性

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
計	—	—	—	

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

客観的データを用いた積算根拠（例：対象入院待機患者数×平均在院日数÷365）を記載してください。

○想定する疾患や診療科、院内：院外割合などを具体的に記載してください。

○地域包括ケア病床を希望する場合は、自院が担う役割について、一般社団法人地域包括ケア病棟協会が定義する4つ医療機能（①ポストアキュート機能②在宅等緊急受入機能③在宅等予定受入機能④在宅復帰支援機能）を記載してください。

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例) 回復期		
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	(例) 地域包括ケア病棟入院料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期		
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
診療科 ●●科、●●科、・・・				
患者の受入見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)				
【増床前】 (例) ●●病院から年間●●人 (%) 自院から年間●●人 (%) ●●診療所(自宅)から年間●●人 (%) ●●施設から年間●●人 (%) 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人		【増床後】 (例) ●●病院から年間●●人 (%) 自院から年間●●人 (%) ●●診療所(自宅)から年間●●人 (%) ●●施設から年間●●人 (%) 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人		

医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）	
【増床前】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、… ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、…	【増床後】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、… ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、…

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例) 急性期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	(例) 急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
診療科 ●●科、●●科、・・・				
診療実績 (※整備する病床に関する実績を記載してください) ○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）				

○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

○回復期、慢性期医療機関：在宅医療連携拠点、市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅・介護施設への移行は円滑に行われているか、等

※地域包括ケア病床を希望する場合は、平時からの介護保健施設等との連携の状況や見込みについて具体的に記載してください。

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況	備考
取得済	m ²		所有・借地	
仮契約済	m ²		所有・借地	
取得予定	m ²		所有・借地	
計	m ²			
取得見込等 (取得予定の場合)	<p>取得見込（地権者との交渉状況等）、取得時期、農地法、都市計画法等許可の必要性の有無・協議状況等を記載してください。</p> <p><u>※以下については記載内容に必ず盛り込んでください。</u></p> <p><u>○整備を計画する市町村の都市計画関係部署に、関係法令上の許可申請等の手続の見込みについて事前に確認した状況について記載してください。</u></p>			

(4) 計画建物

工事種別	新築・増築・改修・その他（ ）
概要	概要を簡潔に記載してください。

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師						
看護師						
准看護師						
看護補助者						
理学療法士						
言語聴覚士						
作業療法士						
その他						
計						

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p><u>(※上表の医療従事者の確保策と確保スケジュールを具体的に記載してください。)</u></p> <p><u>【医師】</u></p>

【看護師】

【リハビリ職】

【その他】

(6) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	年 月	
2	建築（着工）	年 月	
3	建築（竣工）	年 月	
4	医療従事者の確保	年 月	
5	使用許可（医療法）	年 月	
6	開設（増床）	年 月	

* 計画年月の表記は「和暦」で記載すること。